

授業報告 5

"How to Introduce English Debate into Classroom?"

—第4回立教大学英語教育セミナー配布用資料—

鈴木 健

ディベートとはなにか? 「ある論題に関して肯定・否定の立場に分かれ、客観的資料を用いながら討論をおこない、聞き手である第3者に議論の優劣を説得させるプロセスである」

A. わかりやすくディベートを  
学生に紹介するための5つの  
コツ

1. 政策論題 (Proposition of Policy)より  
判定論題 (Proposition of Judgment)  
を使う。

ディベートでは明確な論題が提示されなければならない。初心者にやりやすい論題とは、政策変更 (policy change)を提唱する政策論題よりも事実関係(fact)や価値観 (value)について議論する判定論題である。

悪い論題：

- (1) 論点がない。例：日本は民主主義国家である、キムタクは男である
- (2) 中心となる論点が複数ある。例：日本は死刑制度を廃止して離れ小島への終身流刑制度を導入すべし
- (3) あまりにも準備に時間がかかる。

例：日本はマスコミ倫理規制法を制定すべし

よい論題：

- (1) 短い時間で議論可能。例：死刑制度は人道的に問題がある
- (2) 学生が興味を持てる。例：日本における多産奨励キャンペーンは望ましい
- (3) 学生がある程度の知識を持っている。例：入試科目から英語ははずされるべきだ

2. ブレインストーミングの後、立論 (Constructive Speech)の議論は取捨選択させる。反駁 (Rebuttal Speech)では、肯定側(Affirmative Side)・否定側 (Negative Side)のチームワークの重要性を強調する。

もしも90分授業の中で、30人のクラスを5人ずつ6つのチームに分けて彼らに英語ディベートを経験させようとすれば、以下のようなスケジュールが考えられる。

導入 (5分)

論題に関するブレインストーミ

- ング (20分)
- チームごとの打ち合わせ時間 (10分)
- 肯定側立論 (5分)
- 否定側からの質疑応答 (3分)
- 否定側立論 (5分)
- 肯定側からの質疑応答 (3分)
- 休憩 (2分)
- 否定側の第1反駁 (2分)
- 肯定側の第1反駁 (3分)
- 否定側の第2反駁 (2分)
- 肯定側の第2反駁 (1分)
- 審査員からのコメントと参加者の感想 (25分)

### 3. 学生への注意事項

- (1) 相手の言うことをよく聞いて、ノートをとり反論する。
- (2) 仲間の言い足りなかったことを、伸ばしてあげる。
- (3) 自分たちの話の内容のダブリを、できる限り少なくする。

### 4. 証拠資料(Data)は可能なら使わせる。

本、雑誌記事、新聞記事等。専門家の引用 (Quotation of authorized opinion) がそのまま議論のスタイルになっていることを学ばせる。

### 5. できるだけ理由付け (Warrant) を述べさせる。

ディベートで用いられるロジックの構造

Data (Evidence)----->Warrant (Justi-

fication)----->Claim (Conclusion)

- 例： D (身体障害者のための仕事が十分に確保されていない)  
 W (いかなる人も労働につく権利を保証されるべきである)  
 C (身体障害者にも仕事を保証する法律を施行すべきである)

Warrant のパターン

- (1) 因果関係 (Causation)。例：有能な教師とその教え子
- (2) 兆候 (Sign)。例：池袋のにぎわいと日本の景気
- (3) 一般化、帰納法 (Generalization)。例：他の先進諸国における税率
- (4) 特殊化、演繹法 (Classification)。例：当世学生気質と今年の新入生
- (5) アナロジー (Analogy)。例：野茂とイチロー

(すずき たけし

本学全カリ運営センター非常勤講師)

## B. 参考資料一覧

国内で入手可能なもの

Alexander, L.G. (1985) *For and Against*. Eichosha.

Johnson, V.E. (1995) *Viewpoints: For and Against*. Kinseido.

Mack, J.B. (1995) *Controversial Issues in Modern Society*. Yumi Press.

Naff, C., & T. Matsui. (1991) *Let's Talking in English*. Kinseido.

Powle, B. (1995) *Opposite Opinions on News Topics*. Kinseido.

米国の出版社から出ているもの

Goodnight, L. (1991) *Getting Started in Debate*. National Textbook Company.

(ただし、この本はマクミラン・ジャパンに国内在庫あり)

Rieke, R.D., & M.O. Sillars. (1997)

*Argumentation: Critical Decision Making*

4th ed. Harper Collins College Publisher.